

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成20年12月17日に不適合管理委員会で審査された不適合事象は、下記のとおりです。

区分Ⅰ：該当なし

区分Ⅱ：該当なし

区分Ⅲ：該当なし

その他：9件

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	不活性ガス系液体窒素タンク用昇圧弁のグランド部に液体窒素のリークによる凍結が認められたため、当該部を点検・修理	D	
2	4号機	廃棄物処理系機器ドレンろ過器と床ドレンろ過器用連絡弁の開閉表示用リミットスイッチに動作不良が認められたため、当該リミットスイッチを点検・修理	D	
3	4号機	定期事業者検査（主要弁検査）において、検査対象弁となっていた原子炉補機冷却系熱交換器（B）出口ドレン元弁の分解点検を実施したが、分解検査が未実施であったため、対応検討	C	
4	4号機	給水復水系前置ろ過器（A）逆洗用空気入口配管の安全弁が誤動作したため、当該弁を点検・修理	D	
5	6号機	補機冷却海水系用硫酸第一鉄注入ポンプの駆動部より作動油のリーク（微量）が認められたため、当該ポンプを点検・修理	D	
6	集中環境施設	プロセス主建屋用125V蓄電池の点検において、蓄電池の端子押さえナットに割れ（7個）が認められたため、当該ナットを交換	D	
7	集中環境施設	可燃性雑固体廃棄物焼却炉（A）の空気予熱器用主バーナーの燃油移送配管に詰まりが認められたため、当該配管を点検・清掃	D	
8	その他	定期事業者検査における検査用計器等の妥当性確認結果一覧表の作成において、作成要領に示されている2種類の様式の内、「仮設計器用」にて作成すべきところ、誤って「本設計器用」での作成（計5件）が認められたため、対応検討	対象外	
9	その他	構内道路上で廃棄物移送容器を積載した車両（トレーラ）付属の油圧ジャッキアップ装置用作用油供給ホースが破損し、構内道路上に油（約10～20リットル）が漏えいしたため、当該ホースを交換	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉停止 ・発電所外への放射性物質の漏えい ・非常用炉心冷却系の作動 ・火災の発生 など
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 <ul style="list-style-type: none"> * 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障 * 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など ・原子炉への異物の混入 など
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい ・圧力抑制室等への異物の混入 ・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・日常小修理 など

<原子力発電所における不適合事象の是正管理>

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 「不適合の定義」（JEAG4101-2000より）

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）

不適合管理グレード分け（不適合管理委員会にて決定）

- As : 法令、安全協定に基づく報告事象
プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた不適合事象
運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な不適合事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

<注 意>

掲載内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のお電話までお願いいたします。

電 話：0240-32-3432 福島第一原子力発電所・広報部・情報発信グループまで